

問1 「頭に来る」の意味はどれですか？

1. 頭が痛くて動けない 2. 考えが浮かんでくる 3. 頭に何かがぶつかってくる 4. 腹が立ってがまんできない

問2 「胸を借りる」を慣用句の意味で正しく使っている文はどれですか？

1. 服がないので友達の胸を借りる。 2. 胸を借りて重い荷物を運ぶ。 3. 強い選手に胸を借りて練習する。 4. 胸を借りて高いところを見る。

問3 「足が棒になる」を慣用句の意味で正しく使っている文はどれですか？

1. 遠足でたくさん歩いて、足が棒になる。 2. 足が棒になるように、毎日運動をする。 3. 足が棒になるので、まっすぐ伸ばして寝る。 4. 木にぶつかって、足が棒になる。

問4 質問をしたのに、() であしらわれた。() に入る言葉はどれですか？

1. 目 2. 鼻 3. 手 4. 足

問5 「手を貸す」の意味はどれですか？

1. 相手を無理やり連れて行く 2. 自分の手を他人に貸し出す 3. お金を借りて返さない 4. 仕事や作業の手伝いをする

問6 「腹黒い」の意味はどれですか？

1. 性格がとても明るくて優しい 2. お腹の調子が悪くて苦しい 3. 心の中に悪い考えを持っている 4. お腹がとてもすいている

問7 さっきまでとは() を返したような態度だ。() に入る言葉はどれですか？

1. 耳の穴 2. 手のひら 3. 目の玉 4. 足のうら

問8 「骨を折る」の意味はどれですか？

1. 一生けん命に努力や苦勞をする 2. 自分の利益のためにずるいことをする 3. あきらめて途中でやめてしまう 4. 体の一部を強くぶつけて痛める

問9 「朝飯前」を慣用句の意味で正しく使っている文はどれですか？

1. 朝飯前においしいパンを食べた。 2. この程度の宿題なら朝飯前だ。 3. 朝飯前はとてもおなかがすく。 4. 朝飯前を過ぎてから学校へ行く。

問10 みんなの前で失敗して、顔から() が出る。() に入る言葉はどれですか？

1. 火 2. 血 3. 汗 4. 水

問11 「火を見るより明らか」の意味はどれですか？

1. 火の用心をすることが大切だ 2. 遠くの火事を見つけるのが早い 3. 疑う余地がないほどはっきりしている 4. 火を見るととても明るく感じる

問12 「口が軽い」の意味はどれですか？

1. うそをついて、相手をだます 2. 自分の意見をはっきりと言わず、あいまいにする 3. 話す内容が面白く、人を笑わせるのがうまい 4. 秘密を守れず、何でもすぐにしゃべってしまう

問13 「手を打つ」の意味はどれですか？

1. 問題に対して、解決するための対策を立てる 2. 自分の失敗を認めて謝る 3. 手拍子をしてリズムをとる 4. 相手と仲直りをして握手をする

問14 この作業は() が折れる仕事だ。() に入る言葉はどれですか？

1. 足 2. 腕 3. 骨 4. 腰

問15 「馬が合う」の意味はどれですか？

1. 競争してどちらが速いか決める 2. 馬に乗るのがとても上手である 3. 二人で一緒に馬の世話をする 4. 相手と気が合って、仲良くできる

問16 「棚に上げる」を慣用句の意味で正しく使っている文はどれですか？

1. 大事な書類を棚に上げて、なくさないようにした。 2. 自分のことは棚に上げて、友達のわがまを責める。 3. 高い棚に上げておいた本を、やっと取ることができた。 4. 重い荷物を棚に上げて、部屋を広く使う。

問17 「腕が鳴る」を慣用句の意味で正しく使っている文はどれですか？

1. 腕が鳴るように、強く腕を振り回した。 2. 得意な料理をふるまう機会があり、腕が鳴る。 3. 重い荷物を持ったら、ポキポキと腕が鳴った。 4. 腕が鳴るほど、大きな声で歌を歌った。



慣用句(初級)プリント11 答え合わせ・解説

問1 答え 4 腹が立ってがまんできない

「頭に来る」は「腹が立ってがまんできない」という意味です。

問2 答え 3 強い選手に胸を借りて練習する。

「胸を借りる」の正しい使い方は「強い選手に胸を借りて練習する。」です。意味は「自分より実力が上の相手に練習の相手をしてもらう」です。

問3 答え 1 遠足でたくさん歩いて、足が棒になる。

「足が棒になる」の正しい使い方は「遠足でたくさん歩いて、足が棒になる。」です。意味は「歩きすぎて足がこわばり、疲れてしまう」です。

問4 答え 2 鼻

「鼻であしらう」の「鼻」の部分が入ります。意味は「相手を馬鹿にして冷淡な態度をとる」です。

問5 答え 4 仕事や作業の手伝いをする

「手を貸す」は「仕事や作業の手伝いをする」という意味です。

問6 答え 3 心の中に悪い考えを持っている

「腹黒い」は「心の中に悪い考えを持っている」という意味です。

問7 答え 2 手のひら

「手のひらを返す」の「手のひら」の部分が入ります。意味は「態度や言動が急にがらりと変わる」です。

問8 答え 1 一生けん命に努力や苦勞をする

「骨を折る」は、何かをするとき苦勞したり、力を尽くして一生けん命努力したりするという意味です。

問9 答え 2 この程度の宿題なら朝飯前だ。

「朝飯前」の正しい使い方は「この程度の宿題なら朝飯前だ。」です。意味は「非常に簡単にできること」です。

問10 答え 1 火

「顔から火が出る」の「火」の部分が入ります。意味は「恥ずかしさで顔が真っ赤になる」です。

問11 答え 3 疑う余地がないほどはっきりしている

「火を見るより明らか」は「疑う余地がないほどはっきりしている」という意味です。

問12 答え 4 秘密を守れず、何でもすぐにしゃべってしまう

「口が軽い」は「秘密を守れず、何でもすぐにしゃべってしまう」という意味です。

問13 答え 1 問題に対して、解決するための対策を立てる

「手を打つ」は「問題に対して、解決するための対策を立てる」という意味です。

問14 答え 3 骨

「骨が折れる」の「骨」の部分が入ります。意味は「仕事などが困難で苦勞する」です。

問15 答え 4 相手と気が合って、仲良くできる

「馬が合う」は「相手と気が合って、仲良くできる」という意味です。

問16 答え 2 自分のことは棚に上げて、友達のわがママを責める。

「棚に上げる」の正しい使い方は「自分のことは棚に上げて、友達のわがママを責める。」です。意味は「自分の欠点や失敗を問題にせず、知らん顔をする」です。

問17 答え 2 得意な料理をふるまう機会があり、腕が鳴る。

「腕が鳴る」の正しい使い方は「得意な料理をふるまう機会があり、腕が鳴る。」です。意味は「自分の実力を試したくて、うずうずする」です。